

CAFC、ミッシェル首席判事が退官、後任はレーダー判事に

2010年6月1日
JETRO NY 中楨、横田

本日、連邦巡回控訴裁判所(Court of Appeals for the Federal Circuit: CAFC)は、1982年のCAFC発足以来6代目となる首席判事(Chief Judge)に、レーダー判事(Judge Randall R. Rader)が就任したことを公表した¹。

この人事は、5月31日付けでミッシェル判事(Judge Paul R. Michel)が首席判事を辞し、CAFCを退官したことに伴うもの²。CAFCの首席判事は、CAFC長官とも言うべき役職であり、CAFCの事務全般を統率する他、対外的にもCAFCを代表して行動する責任ある立場にある。任期は最長7年であり、70才を超えて在任することはできない。2004年12月25日に首席判事に就任したミッシェル判事の場合、70才までの任期を若干残して約5年半の在任期間で首席判事を辞任することとなった。辞任後は上級判事(Senior Judge)としてCAFCに残る道を選ばず退官し、これまでの経験を活かした新たなキャリアを目指すとのこと。

なお、CAFCの新たな首席判事を選出するに際しての条件は法令に明確に定められており³、CAFC判事として1年以上の実務経験を有する64才以下の判事の中から職歴上位者が輪番で就任することになっている。

(了)

¹ CAFC ウェブサイト：<http://www.cafc.uscourts.gov/>

レーダー判事の略歴：http://www.cafc.uscourts.gov/pdf/CJRader_bio.pdf

² ミッシェル首席判事は、2009年11月20日に開催された連邦巡回控訴裁判所法曹協会(Federal Circuit Bar Association)のディナースピーチにおいて自身の退官予定を公表していた。スピーチの内容は、CAFCのウェブサイト参照：http://www.cafc.uscourts.gov/pdf/CJ_Michel_11-20-09.pdf

³ Title 28 of the United States Code, §45